9月17日

上智大学アジア人材養成研究センター（Sophia Asia Center for Research and Human Development）

訪問先都市	シェムリアップ
懇 談 者	三輪悟 上智大学アンコール遺跡国際調査団 遺跡修復工事所長
訪 問 概 要	上智大学アジア人材養成研究センターは、アンコール・ワット、バンテアイ・クデイ遺跡の保存修復を行っている民間組織である。将来は遺跡の保存修復がカンボジア人を主体として行われることを目指し、現状維持に近い形での修復作業を行うとともに、人材養成に尽力している。また、近隣住民に修復作業に自主的に参加してもらうことで、住民と遺跡の関係を深め、長期的な遺跡の保存を目指している。三輪悟氏から様々な話を伺い、人材養成を通じた遺跡修復支援の難しさやそのやりがいについて学ぶことができた。

バンテアイ・クデイ（Banteay Kdei）

訪問先都市	シェムリアップ
訪 問 概 要	三輪悟氏の案内のもと、バンテアイ・クデイを訪問した。同遺跡はジャヤーヴァルマン７世の統治時代に築かれた仏教寺院である。アジア人材センターは、「カンボジア人によるカンボジアのための保存修復」を哲学とし、同遺跡において現場実習や修復作業を行っている。また、2011年には同遺跡内に「アンコール文化遺産教育センター」を開設し、周辺住民に対する文化啓蒙教育も行っている。現地人による文化遺産継承の可能性の一端を見学することができた。

アンコール・ワット（Angkor Wat）

訪問先都市	シェムリアップ
訪 問 概 要	三輪悟氏の案内のもと、世界文化遺産に登録されているアンコール遺跡群の中でも最大級のアンコール・ワットを視察した。アンコール・ワットは特に巨大であるため、アンコール遺跡群修復に関わる様々な国の修復チームが分担して作業をしている。視察中には、同氏から修復途中である状態の部分の解説を聞き、修復の進むアンコール・ワットの歴史的かつ文化的価値を改めて深く認識することができた。

アンコール国立博物館（Angkor National Museum）

訪問先都市	シェムリアップ
訪 問 概 要	アンコール遺跡群などから出土した、クメール朝時代をはじめとするヒンドゥー教や仏教彫刻などを展示するアンコール国立博物館を訪問した。シヴァ神やヴィシュヌ神、ゴーダマ・シッダールタの銅像など、当時の人々が思いを込めて創作した逸品の数々を目にすることができ、知識・感性の両視点から大変勉強になった。また、自分たちが巡ってきたアンコール・ワットやバイヨン遺跡の解説もなされ、より深く理解する契機となった。

タ・プロム（Ta Prohm）

訪問先都市	シェムリアップ
訪 問 概 要	アンコール王朝が栄華をきわめた時代に建造された巨大遺跡が、今もなおその場所に存在し、大自然の中であらゆる生命を持つものと共存する姿に感銘を受けた。特にタ・プロムの遺跡は、他のアンコール遺跡群と比べて、発見された当時の樹木に覆われた様子を残すため、人工的な修復はあまりなされずに、ありのままの状態で残されていることに特徴がある。遺跡を後世に伝え続けるための手段として、修復以外の選択肢があることを知り新たな発見をするとともに、自然の壮大な生命力を感じることができた。

9月20日

歓送夕食会（Farewell Party）	
訪問先都市	プノンペン
懇談者	Mr. Tauch Choen, General Director, Department of Youth, MOEYS Mr. Soeu Try, Deputy Director, Department of Youth, MOEYS Mr. Sross Savoeun, Official, Department of Youth, MOEYS Mr. Prom Morokot, Admin Officer, UYFC
訪問概要	お世話になったホストファミリーとカンボジア青年、プログラムを支えてくれた教育省の関係者の方々と共に夕食会を行った。三日間私たちをもてなし、カンボジアの人々の生活を様々な角度から見せていただいたホストファミリーには感謝してもしきれず、同じテーブルで食事をした後もしばらく話をした。「本当の娘のように思っているからまた連絡して」「カンボジアに来るときはまた泊まりにおいで」とのホストファミリーの言葉に思わず涙が出そうになり、お別れするのが大変名残惜しかった。

9月21日

国立博物館（National Museum）	
訪問先都市	プノンペン
訪問概要	アンコール遺跡をはじめとしたカンボジア全土から発掘された出土品が数多く展示されている。日本招へいカンボジア青年と共に、博物館のガイドの説明を聞きながら、6世紀から15世紀にかけての彫刻や青銅器を年代順に見学した。展示品がケースに入れられていないため、展示品を細かく観察することができた。

王宮、シルバーパゴダ（The Royal Palace and Silver Pagoda）	
訪問先都市	プノンペン
訪問概要	日本招へいカンボジア青年と共に、王族が居住している建物と隣接している王宮やシルバーパゴダを訪問した。華やかな王宮の外観や王族の写真や歴史などから、いかにカンボジア国民から王族が尊敬されているのかが伝わってきた。また、シルバーパゴダの中には金銀宝石で彩られた仏像や宝飾品が展示されていた。